

131 なあ話(を聞)いたりしてても学べることがいっぱいあったのでいい時間に
なって本当によかったですと奥(いたみ)ました。NIE(を)する時に、見出しとかを
1313考(あら)えた(を)りしていいNIEの新規を作(つくり)たりと(め)りました。
これが(も)NIEの時間(じかん)を大切(だいせつ)に(い)はう1thめり元(もと)張(は)
けたりいいかなあと見(み)ました。

朝日新聞社の西見さんにお話しをしていただけて良い機会だったと思います。
体験で見出しをつけるのは私には難しく周りの人も悩んでいる人が多かったです。
それなのに記事の1つ1つに的確な良い見出しが付けている新聞社の方が凄いと思いました。

しっかりしゃべられて、大(おお)きな(こと)もなんでも確認(くに)して
事実だけを提供(ていき)んでくれてるので
デマとかよくないうわさが流れたりしても
新聞を読めば本当(ほんとう)なことがわからて、
とてもいいなと思いました。

今はSNSでも朝日新聞や
他の新聞局の新聞か
閲覧できたりするので
拡散力があるなと思いました。

朝のニュースで新聞の中の気(き)になる
記事を解説(かいやく)しているのを見(み)るけど、
読書(よくしょ)の目(め)にと(と)くやすいやうな見出(みだし)
をつけたりしていいで
とても面白いなと思うのと同時に(と
くに)なあと思(おも)いました。

新聞が権力を監視する、watch dogはいい言葉だなと思った。犬のようだと例えるのは、新聞を読めばまさにそうだなと感じられた。

オリンピックを開催するかどうかについて、社説で行は止を求めたけれど、別に反論記事を載せたといふのはいいことだと思った。一方にかたよらず両方からの観点で物事を考えられるし、またたくさんの人の意見が得られると思う。

他にも、メダル受賞などがありつつあえて一面を五輪一色にしないなど、普通は気付けないような所まで細かく考えて記事から作られていて、自分も新聞を読んでいる時、もっと広い視野を持って読もうと思った。

記事の見出しを考える人は普通にすごいです。

今まで、「新聞なんて(らな)」と思っていたけど、話を聞いて、新聞の最も重要なことは、記事を書くことではなく、社会に自分の主張を訴えることなんだなと思ひ、新聞の重要さが分かりました。

〆切 1月 21 日 (金) 朝学活

新聞の人はとても大変な仕事をしておれないと感じた。色々な仕事がきて大変そうですが、どの仕事を重要だと思います。やりきれないにうなづきできるのもすごいと思います。

- いろいろな話を聞けて良かった。
- とてもわかりやすかった。

新聞は、最近どんどん読者が減っていて、私も新聞を売る意味ってなんだろううとずっと思っていました。講師の方が「世の中の不正を許さないためにあるとおっしゃっていて私の読んでいる新聞にはそんな気持ちが込められているんだ」と驚きました。でも、それ以外にも「温まる新聞」あって、もっと世の中の人気が当たり前に不正などを行わず、「温まる記事」が増えていくことを本当の平和につながるんじゃないかなと思います。

この授業では、記事に題名を付けるという体験もすることができます。毎日の新聞にはたくさん的人が「ニュースを伝えたい」という思いがたくさん詰まっているんだなと思いました。

*このまま 兵庫NIEホームページに載るかもしれません。字を丁寧に書いてください。

*名前は載りません。

「権力を監視する」という西見さんの言葉がすぐ印象に残っています。また事実を調べ、議論しながら完成されていく新聞は、記者の方々の思いがたくさん込められていると思いました。NIEの取り組みだけでではなく、普段ももっと新聞を読もうと思います。

西見さんの話を聞いて、新聞を作ることの大変さ、そして記事の見出しが、読者への印象に大きく関係していることに気づきました。

正確な情報を読み人にわかりやすく記事に載せてくださる新聞記者さんの仕事によって、私たちの生活がより良いものになっていたのだと思いました。

「新聞記者」という仕事を知るとても良い機会になりました。たくさんのお話を教えていただき、とても感謝しています。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一 支局長

西宮市立浜脇中学校

権利の大さいやそこにある問題点などをいかない監視をされている。どうお話を熱く語り合ったり心に残ります。この話を聞かれて、「日本は新聞社が何よりこれいわれたう、見逃さず、また大規模な報道をするのだろう」と思って、新聞記者とは社会に対してとても重要な人間だ、書くことにうそはない、自分たちでも確める作業をして大変な職業だと感じました。
毎日当然のように見ていた新聞の見方へ変わりました。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一 支局長

西宮市立浜脇中学校

新聞のこととたくさん聞くことができた、貴重な体験でまた全然違う
新聞のことを聞くことができてこそして良かった。

また、自分のためになることも聞くことができて良かった。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一 支局長

西宮市立浜脇中学校

うの可能性もあるね、ニュースより事実確認のされた新聞の方が
信頼できる、家で新聞をとっているので読んでみようと思った。

NIE 記者派遣事業 感想用紙 講師:朝日新聞社 阪神支局 西見誠一 支局長

西宮市立浜脇中学校

いろいろな話が聞けてよかったです。

1個の見出しを考えるだけでも莫大しかったのに、新聞記者の方達は何個もの見出しお考えているかと思うと、すごいなと思いました。また、ネット記事と新聞は書かれているところが「一発勝負」と思っていたので、違いを知れて良かったです。

普段の授業などではなかなか聞けない話を聞いて、良い経験になったと思います。
新聞が無くなってしまうことで、権力が暴走してしまうという話が特に印象に残っています。
デジタル化やペーパレス化が進む中、新聞はどうのように生き残っていくのかが気になりました。

今回のこのNIE講座では、初めて知ることがたくさんありました。
また、新聞が「はくばるとまさ」または「犯罪などがおきるとき」、「新聞のめりが」に手を改め感じました。
これからも、NIEを通じて新聞のことをもっと知りたいなと思いました。

新聞社にいる人の大きな話を聞いてすばらしいです。みんな頭をあさづかって、作っている感じで尊敬できません。
自分は新聞は作れないと思います。むかいで

新聞をつくるときに、実際に石垣任をしていると聞いて、新聞の良いところは、やはり正確なところだなと思いました。インターネットは、便利だけど、新聞は、色々なつくりを重ねて作っているので、ニュースを見るときは、新聞をみたいのです。新聞をつくるのは、すごく大変だと思うので、新聞記事を切りとくのがNIEの活動は、すごく良いものだなと改めて思いました。

私たちが知らない裏側などを知れてよかったです。
見出しを決めるだけでも大変なんだなと思いました。
また機会があればもっと詳しく調べようと思いました。

見出しが付けるのは、とても難しいなと思うたし、多くの人に見られるので大変なども気をつけないといけないし、ちがった情報を出すといけないのでやうすり新聞作りは、とても難い、なと思いました。
この話を聞いて今後新聞を見たいと思います。

新聞はうそがなく多くの作業していることを知り僕はネットニュースだけではなく新聞を読もうと思ひました。見出しが付けるのは意外と難しかった。

見出しを考えることが、あんまり得意でないものだとは思ってませんでした。
伝えたいことを的確に、すっきりまとめていけるのが記事を見る時間がなくて
見出しが見つけづらい。詳細はとにかく、どんなことかあたかもは知ることかいざるどか。
わかりました。

色々な事が知れて良かったです。一つの記事の見出しを決めるのが
細かい所は違うけど、思っている事が一緒だったのが印象的です。

毎日新聞を新聞にしていくけど作成する方法はこれまで大きくどうした